

3 学校経営の概要

(1) 教育目標

知・徳・体のバランスがとれ、困難に負けない精神力を持って何事にもチャレンジし、未知の世界にあっても、豊かな想像力と社会性及び課題解決力によって他と協働しつつ、地域社会に貢献できる人物を育成する。

(2) 育てたい生徒像

- ア 「時を守り、場を清め、礼をただす」が自然体で実践できる生徒
- イ 基礎的・基本的な学力及び思考力・判断力・表現力を備え、学ぶ意欲にあふれる生徒（知）
- ウ 礼節を弁え、豊かな人間性や社会性を備えたチャレンジ精神あふれる生徒（徳）
- エ 困難に負けない体力と精神力を備え、健康な生活を自らの力で維持できる生徒（体）

(3) 育てたい生徒の資質・能力

- ア 基礎的・基本的な知識・技能（知）
- イ 論理的思考力（知）
- ウ 的確な判断力（知）
- エ 豊かな表現力（知）
- オ 主体的チャレンジ精神（徳）
- カ コミュニケーション能力（徳）
- キ 協働性（徳）
- ク 自己肯定感（徳）
- ケ 体力及び精神力（徳）（体）
- コ 自己管理能力（体）

(4) 本年度の重点 「募集定員確保に向けた学校、学科、コースの特色・魅力づくり」

- ア 「分かる授業」の展開及び授業力向上のための研究授業等の実践
- イ ICTの効果的な活用法の研究
- ウ 課題解決型学習実践へ向けた取組の展開
- エ キャリア教育の充実及び就職希望者の第一志望合格へ向けた取組の強化
- オ 4年生大学進学希望者に対する受験対策の強化
- カ 自転車・原付通学者への安全指導の充実
- キ 「思いやりの心」を育む教育の充実
- ク 教育相談の充実及び不登校生徒への支援体制の充実
- ケ 部活動の充実及び活性化
- コ 業務改善への取組
- サ 地域協働の強化及び中学校への広報活動の充実

経営概要

(5) 各部の基本方針及び努力目標

教 務 部

ア 基 本 方 針

- (ア) 各部・各学年・各教科との密接な連携強化を図る。
- (イ) 有効適切な学校行事の計画推進を図る。
- (ウ) 教育環境の整備と効果的な活用を推進する。

イ 努 力 点

- (ア) 円滑な学校行事の運営を図り、授業の充実に努める。
- (イ) 職員相互の研修に努め、生徒理解を深める。
- (ウ) 家庭・地域社会・中学校との密接な連携を図り、教育力を高める。
- (エ) 諸表簿類の整備及び内規集の充実に努める。
- (オ) 業務改善の視点に立ち諸業務の見直しを図る。

ウ 具体的な取り組み

- (ア) 学習指導要領の学習・研修を深め、それに対応した教育課程編成の研究に努める。
- (イ) 新学習指導要領下での観点別評価の精度を高める。
- (ウ) 普通科コース制について内容を検討し、一層の充実に努める。
- (エ) 内規集の改定を行う
- (オ) 「総合的な探究の時間」の内容をさらに研究し、充実に努める。

生徒指導部

ア 基 本 方 針

本校の教育目標・教育方針に基づいて、組織的・計画的な生徒指導に取り組み、望ましい心豊かな人間形成を目指す。

- (ア) 教職員の共通理解に基づき、積極的な生徒指導に取り組む。
- (イ) 生徒の実態を把握し、生徒理解に立った生徒指導に取り組む。
- (ウ) 家庭・地域社会との連携を図り、共感を得る生徒指導に取り組む。

イ 努 力 点

- (ア) 校則や社会規範について理解させ、規律正しい言動がとれる生徒の育成に努める。
- (イ) 挨拶・服装容儀、時間を守るなど基本的生活習慣を身につける指導に努める。
- (ウ) 非行の未然防止に努め、有効適切な指導に取り組む。
- (エ) 交通事故・交通違反の未然防止に努め、交通安全指導を徹底する。
- (オ) 生徒の自主的活動を支援し、生徒会活動の活発化に努める。
- (カ) 部活動の活性化に積極的に取り組む。
- (キ) 図書館の利用を図り、読書指導に努める。
- (ク) 悩み調査などをもとに、生徒の実態を把握し、「いじめ・不登校・中途退学」など問題行動の早期発見と早期対策を組織的に行い、生徒の心に届く生徒指導に努める。

進路指導部

ア 基本方針

- (ア) 各部・各学年・各係との緊密な連携と協力の下に望ましい勤労観・職業観の育成を図り、将来の自分像を持たせながら主体的に進路を選択することができるよう、計画的・組織的な進路指導を実現する。
- (イ) 生徒一人一人が個性・適性・能力を活かした進路実現を目指せるように各学科・コース別の学習指導体制の確立を図る。
- (ウ) 商工会や同窓会、行政機関等との緊密な連携を図りながら、本校の教育特色を生かした進路指導を展開する。

イ 努力点

- (ア) LHR、進路ガイダンス、教育相談、進路希望調査等を定期的に実施し、勤労観・職業観の育成に努める。
- (イ) 生徒一人一人の進路実現に向け、上級学校、企業等の情報を収集・整理・分析し「進路の手引き」をはじめ各種資料の提供と活用を通して進路情報の円滑な提供を図る。
- (ウ) 基礎学力の向上及び自ら学習に取り組む学習習慣の確立を目指すとともに、朝読書の定着化と習慣化を図る。
- (エ) 放課後学習会を実施し、上級学校への進学を目指す生徒に対し、対外模試等を活用した応用的な学力の育成に努める。

保健部

ア 基本方針

- (ア) 学校保健活動の推進を図る。
- (イ) 体力向上を推進する。
- (ウ) 保健管理と疾病予防の徹底を図る。
- (エ) 環境美化を積極的に進める。
- (オ) 学校生活が安全に送れるように意識の高揚を図る。

イ 努力点

- (ア) 体力の向上とスポーツの振興を図り、社会的態度を育成するとともに、生涯を通じて健康的な生活が送れるように努める。
- (イ) 登下校時、校内生活における安全と災害の防止に努める。また、事故・災害の発生時における救急処置とその手続きをすみやかに行う。
- (ウ) 職員・生徒の健康調査の実施、健康診断の結果による対策、健康相談等の推進に努める。
- (エ) 校内の美化に努め、校舎内外の整理整頓、清掃の徹底を図り、安全確認の点検を行う。
- (オ) 家庭において健康的な生活が送れるように指導する。

経営概要

(6) 各教科の重点的取組

国語

- ① 小テスト等の実施により基礎的学力および豊かな語彙力を身につけさせる。
- ② 生徒の発言を積極的に取り上げ、意欲をもって学習に参加する生徒を育てる。
- ③ 表現する機会を増やし、自らの考えを適切にまとめ、表現する力を養成する。
- ④ 生徒の学力や進路目標に応じた指導計画を立案し、実施する。

地歴・公民

- ① 地歴・公民分野における基礎的・基本的知識の効果的な定着を目指し、ICT機器を活用した授業の実践を行う。
- ② 時事のニュースを活用し、現代における課題についての学習を通して、内容をまとめる思考力及び表現力の育成を図る。

数学

- ① 生活で利用されている数学の例などを示し、学習意欲を持たせつつ演習問題を解かせ、基礎学力、論理的思考力を育む。
- ② 予習復習プリントを与え、予習・復習等の学習習慣をつけさせ、自ら学ぶ生徒を育む。
- ③ 対外模試レベルの演習に取り組ませ、チャレンジする精神を育む。

理科

- ① 小テスト等の実施により、基礎学力を身につけさせる。
- ② 観察・実験およびICT教材を利用して、関心や探究心を高める。
- ③ 自然の事物・現象から問題を見だし、科学的思考力を養う。

英語

- ① 毎時間予習チェック等を行い、継続的に英語を学習する習慣を定着させ、基礎・基本を身につけさせる。
- ② A L Tとの言語活動をふんだんに盛り込み、異文化に対する知識・理解を深めさせ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ③ 英検等の受験や、大学入試を意識した個別指導を増やし、英語を活用できる力を伸ばす。

芸術

鑑賞活動の中で、芸術の基礎・基本的な知識・技能をより具体的に示すとともに、知識・技能を活用した表現活動の中で、表現したいイメージが具体化するように、逐次アドバイスする。

保健体育科

- ① 集団行動を通して、規律ある集団のあり方や集団で行動するときの心構えや所作を習得する。
- ② 「体づくり運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」、「ダンス」及び「体育理論」の六つの領域の活動の中で、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を身につけさせる。
- ③ 全ての領域の活動の中で、身体能力を身につけるとともに、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成する。
- ④ 筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通して、論理的思考力をはぐくむ。
- ⑤ 教科「保健」においては、個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
また、課題研究学習を通して、課題に対して取り組む基礎力を身につけさせるとともに協調性や論理的思考力、その他社会の中で生きていくために必要な能力を身につけさせる。

家庭

- ① 被服製作（１年）や調理実習（２年）をとおり、家庭生活に必要な知識と技術を身につけ、社会の課題と暮らしを結びつけて総合的に考えることができる、持続可能な社会をつくる担い手としての力を育てる。
- ② ホームプロジェクトや家庭クラブ活動をとおり、地域・社会と共に生きる能力と態度を育てる。

情報

- ① コンピュータの実習を通して、情報技術の習得に努める。
- ② インターネット活用の実践により、情報社会へ参加する態度と活用の実践力を育成する。
- ③ SNSの使用の実例を示し、また実際に利用させ、問題点を考えさせることにより、情報モラルの育成を図り、情報社会に積極的に参加する心構えを育む。

商業（情報処理科）

- ① 正しい職業観を確立させるために、授業をとおり、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、日常的な礼節指導に力を入れ、基本的生活習慣及びビジネスマナーを身につけさせる。
- ② パソコン実習等をとおして、情報処理機器の利用に関する知識と技術を習得させる。
- ③ 経済社会の諸問題解決のために、地域産業や地域社会との連携・交流をとおして、情報を収集・分析する力を身につけさせる。
- ④ 各種検定に対し、早期段階で達成感や充実感を得る経験をさせることで、上級資格取得に意欲的に取り組ませる。